

第 110 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 7 月 12 日(月)10：30～11：30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がりの状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、日下 県警本部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、崎原 農林水産部長、島袋 土木建築部長、下地 産業振興統括監、真鳥 観光政策統括監、大城 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、木村 宮古兼八重山保健所長(テレビ会議システム利用)

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】

- ✓ 7/11 の新規発生は 30 名、合計 21,349 名、入院中 269 名、うち重症 11 名、うち中等症 171 名、入院調整中 72 名、宿泊施設療養中 137 名、自宅療養 172 名で療養中患者計 650 名となっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料 2】

- ✓ 7/10 時点、米軍基地内で 3 名。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1~3-8】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
 - ✓ 療養者数及び新規感染者数は、第 4 段階にあり、引き続き感染まん延期にある。
 - ✓ 病床占有率、重症者用病床占有率、感染経路不明な症例の割合、新規 PCR 検査の陽性率は、第 3 段階にある。
 - ✓ 国の判断指標では、療養者数及び重症者用病床占有率がステージⅣの段階にある。
 - ✓ 非コロナ病床の利用率は 93.2%となっている。
 - ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は、23.03 で、全国ワースト 2 位の状況。
 - ✓ 各保健所管内の新規感染者数比較について、那覇、中部、南部の保健所管内は減少傾向にあるが、名護市の感染者数が増えてきていることから、北部保健所管内の数値が上昇している。
 - ✓ 重症中等症者の人数は、減少傾向にあり、6/5 の週の半分以下にまで減少してきている。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料 4】

- 総括情報部から、宿泊療養施設の入居状況等について報告。
 - ✓ 那覇市は 2 カ所が稼働しており、東横イン旭橋駅前で 54 人、ソルヴィータホテル那覇で 47 人が療養している。
 - ✓ 他の地域については、北部で 13 人、宮古で 14 人、八重山で 4 人が療養中となっている。
 - ✓ 宿泊療養施設についても、入居者は減少傾向にある。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料5】

- 総括情報部から、KDDI Location Analyzer による分析結果を報告。
 - ✓ 繁華街エリア、商業エリア、空港エリアの全てのエリアで、人流が増加してきている状況である。

(6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの発生状況等について報告。
 - ✓ 最近では、社会福祉施設等でのクラスター発生が増えてきている。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料6】

- 宮古・八重山保健所から、宮古・八重山の感染状況について報告。
 - ✓ 7/9 に宮古で 10 人の新規感染者が確認されており、その中には、家庭内感染事例、接待を伴う飲食店での感染事例が含まれている。ほとんどの事例は感染経路が追えている。
 - ✓ 八重山地域は比較的落ち着いている状況であるが、先日は与那国で陽性者や濃厚接触者が確認され、搬送する事例が発生した。

(8) 変異株について【資料7】

- 総括情報部から、変異株の解析状況及び患者発生状況について報告。
 - ✓ 7月第2週は、計 236 件の検査を実施したところ、その内 9 件が L452R（デルタ株）陽性であった（3.81%）。
 - ✓ L452R（デルタ株）については、これまでに 14 件確認されており、その内 4 件は県外での感染と見込まれるが、県民同士の接触、家族間の接触に伴う感染事例も増加してきている。

(9) ワクチン対策チーム進捗状況について【資料 8, 8-2】

- 総括情報部から、医療従事者向け進捗状況と、住民向け進捗状況、接種関連事故について報告。
- ✓ 医療従事者向けのワクチンは、6月25日時点の接種は117,416回が終了。
- ✓ 医療従事者の92.8%が、2回目のワクチン接種を済ませている。
- ✓ 7/10時点で、高齢者については232,351人(71.82%)が1回目のワクチン接種を完了しており、128,747人(39.8%)が2回目のワクチン接種を完了している。
- ✓ 全住民(医療従事者除く)で、1回目のワクチン接種を完了した人は276,143人(18.64%)。また、2回目までワクチン接種が完了した人は141,838人(9.58%)となっている。
- ✓ 職域接種については、県内で58件の申請があり、その内、県の承認を受けたものが57件、国の承認まで受けたものが16件となっている。
- ✓ ワクチン接種について、これまでに39件の副反応疑いの事例が報告されており、その内、重篤な事例が15件、死亡事例が6件となっている。ワクチン接種と死亡との因果関係ははっきりしていない。
- ✓ 広域ワクチン接種センターについて、新たに「沖縄県エッセンシャルワーカー等広域ワクチン接種センター(仮)」の設置を進めているところである。場所は那覇クルーズ船ターミナルを予定しており、運営予定期間は調整中である。
- ✓ 市町村ごとのワクチン接種状況について取りまとめ、周知することとした。
- ✓ 広域ワクチン接種センターにおいて、昨日、海外でファイザー製ワクチン接種を受けていた男性(17)に対し、誤ってモデルナ製のワクチンを接種する事案が発生したことを報告。今のところ健康被害は報告されていないが、今後も健康観察を継続する予定である。また、対策を講じ再発防止に努める予定である。

(10) PCR 検査事業の状況について【資料9】

- 総括情報部から、検査事業実績について報告。
 - ✓ エssenシャルワーカー定期 PCR 検査の実績について、先週(7/5~7/9)は、介護関係者9,721人が受検した結果、4人が陽性であった。障害者施設関係者、保育施設関係者については、陽性者は確認されなかった。
 - ✓ 安価な PCR 検査補助の実績について、先週(7/1~7/8)は5,330人が受検した結果、陽性者74人、陽性率1.39%であった。
 - ✓ 飲食店検査の実績について、先週(7/3~7/9)は133人が受検した結果、陽性者1人、陽性率0.75%であった。
 - ✓ モニタリング検査の実績について、先週(6/28~7/4)は27人が受検した結果、陽性者は0人であった。
 - ✓ 学校 PCR 検査の実績について、先週(7/3~7/9)は537人(17校)が受検した結果、陽性者2人、陽性率0.37%であった。

(11) 空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の運用状況等について【資料10】

- 文化観光スポーツ部から、空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の状況について報告について報告。
 - ✓ 空港 PCR 検査プロジェクトについて、7/5 の週の受検者は1,431名で、その内2名が陽性であった。
 - ✓ TACO について、7/5 の週のサーモグラフィー通過者は112,515人、その内発熱者は0人であった。
 - ✓ RICCA について、7/9 時点の登録者数は103,495人となっている。

(12) その他報告事項について

- 病院事業局から、県立病院の状況等について報告。

- ✓ 7/12 時点の県立病院の入院患者数は 46 人。県全体の入院者数 224 人のうち 20.5%を占めている
- ✓ 県立病院が確保しているコロナ病床の稼働率は、19.5%である。
- ✓ 5月下旬に発生した中部病院のクラスター事例について、累計で 51 人の感染が確認されており、その内、亡くなった方は 19 名である。なお、6/18 以降、新たな感染者は確認されていない。
- ✓ 4月に発生した、南部医療センター・こども医療センターでのクラスター事例について、累計で 5 人の感染者が確認されており、その内、亡くなった方は 1 名である。4/16 以降、新たな感染者は確認されていないことから、4/30 をもって終息したと判断されている。
- 総括情報部から、国・他県からの看護師派遣について、これまでに 104 名の派遣があったことを報告。【資料 11-1】
- 総括情報部から、時間短縮営業・休業の要請を受け容れない飲食店等に対する過料等の手続について報告。【資料 11-2】
 - ✓ これまでに、時間短縮営業・休業の要請を受け容れない飲食店等(134 店舗)に対し休業等を命じる文書を交付しているが、いくつかの店舗は、当該命令に依拠していない。
 - ✓ 休業等の命令に依拠しない飲食店については、緊急事態措置の解除後に過料の手続を行う予定であったが、緊急事態措置が 8/22 までの延長となったため、緊急事態措置の解除を待たずに、過料の手続を行うことを検討している。
- 総括情報部から、飲食店関係での発生状況及び県外からの移入例について報告。【資料 11-3, 11-4】
 - ✓ 7/4 の週における、飲食店関係での新規陽性者数は 20 人となっており、前週に比べて増加している。
 - ✓ 6/29 の週における、県外からの移入例は 5 件であり、減少傾向にある。ただ

し、次週以降、連休、お盆があるため増加しないか注意が必要である。

- 教育庁から、7/22 から石垣で開催予定の、沖縄県中学校総合体育大会のバスケットボール大会について、本島から 439 名が石垣へ移動する予定であること、参加者については、2 週間前からの健康観察、事前PCR、無観客開催、試合中のメディカルチェック等の感染防止対策を実施することを報告。
- ✓ 子ども達のストレスが溜まっている様子で、飲酒補導が増えている。部活動を再開することで解消していきたい。

(報告(1)～(12)に関する発言等について)

- 時間短縮営業・休業の要請を守らない飲食店や新型コロナの対策を実施しない飲食店等で発生したクラスター事例の公表について、検討してはどうかとの意見があった。
→総括情報部から、飲食店等で発生したクラスターについては、厚労省の基準に基づき、更なる感染拡大のおそれがある場合は公表できることとなっており、県内でも公表した事例があることを報告。また、時間短縮営業・休業の要請を守らない店舗での感染事例があることを県民に周知する予定であると回答。
- 他都道府県で、時間短縮営業・休業要請に従わない店舗に対し、過料の手続を行った事例があるか質問があった。
→総括情報部から、東京都において、過料の手続を行った事例があると回答。
- 過料の要件を満たした店舗に対し、罰則を科すことが目的ではなく命令を守ってもらうことが重要であるという観点から、再度、休業等の要請をしてはどうかとの意見があった。また、その要請に応じて休業した場合は、過料を科さないこともできるか質問があった。
→総括情報部から、過料を科すことは裁判所の判断であり、県は命令違反を裁判所に通知する手続を行うことを説明。また、休業等の命令が出されて以降、

時間外の営業が確認された時点で通知手続の要件を満たすこと、実際に通知手続を行うかどうかは県の裁量があるかもしれないが、過料の要件を満たした飲食店等の中で、通知手続を行う店舗と、行わない店舗を分ることは、公平性の観点から困難であることを説明。

3 その他

- 総括情報部から、延長された緊急事態措置期間の解除に向けては、国の判断指標においてステージⅢ相当以上の改善が必要であると考えられることを説明。現在、新規陽性者数などはステージⅢ相当であり、ステージⅣにあるのは療養者数、重症病床占有率、感染経路不明者割合の3指標である。
- ✓ 緊急事態措置の早期解除に向け、緊急速報メールを活用した県民への呼びかけや、デジタルサイネージを活用して那覇空港に到着した来訪者に緊急事態宣言中であることを周知するなどの取組を関係部局と検討している。
- 商工労働部から、大規模集客施設に対する営業時間短縮・土日休業の要請に係る協力金の申請受付を開始したことについて報告があった。

4 閉 会

- 緊急事態宣言が延長されたことを受け、各本部員においても部局職員に感染対策の徹底を呼びかけること、早期解除に向けて関係機関や県民に協力を呼びかけていくこと等を確認し、閉会とした。